平成28年度用
中学校美術教科書
内容案内

美術 1

文部科学省検定済教科書
中学校美術科用

9 開隆堂	美術	726 826

開隆堂

明日の神話
岡本太郎 | Myth of Tomorrow
TARO Okamoto 1968

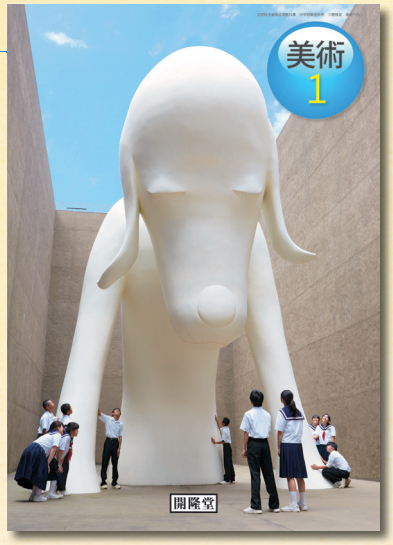
中学生が思い描く未来は、平和な社会であってほしいと思います。そして、すべての人々が美や造形を愛し、それぞれの創造力を働かせて生きることのできる社会こそ、平和な社会なのだと信じます。
開隆堂の「美術」は、美や造形の学習を通して心や暮らしを豊かにする教科書です。中学校三年間の基礎的で主体的な学びを基に、生涯にわたり美術を愛好する心情の育成、豊かな感性などを身につけられるようにすることを編集の基本方針にしています。

表紙を通して開隆堂が伝えたいこと

地域とつながる美術

美術１の表紙の作品は、奈良美智「あおもり犬」です。この作品は青森県立美術館の開館に合わせて制作され、地域の人々に親しまれています。

美術作品は設置された場所に意味をもたせたり、役割を与えたりします。美術は特別なものではなく、人々の暮らしに常に深くかかわっているのです。



【美術1】表紙

【美術2・3】表紙

平和と美術

美術２・３の表紙は、水素爆弾が炸裂した瞬間をテーマに描いた岡本太郎の作品「明日の神話」です。しかし、作品の中には死の恐怖ばかりではなく、生命誕生や再生のイメージも見られます。

美術を通して他人の気持ちを想像することの大切さ、平和と美術を考えるきっかけになってほしいと願っています。

特色1

学習意欲を高めるメッセージ

美術で培った力をこれからの生活に生かすことや
社会で役立つことを明確に伝えています。
生徒が美術を学ぶことに興味をもって、主体的な学習活動ができます。

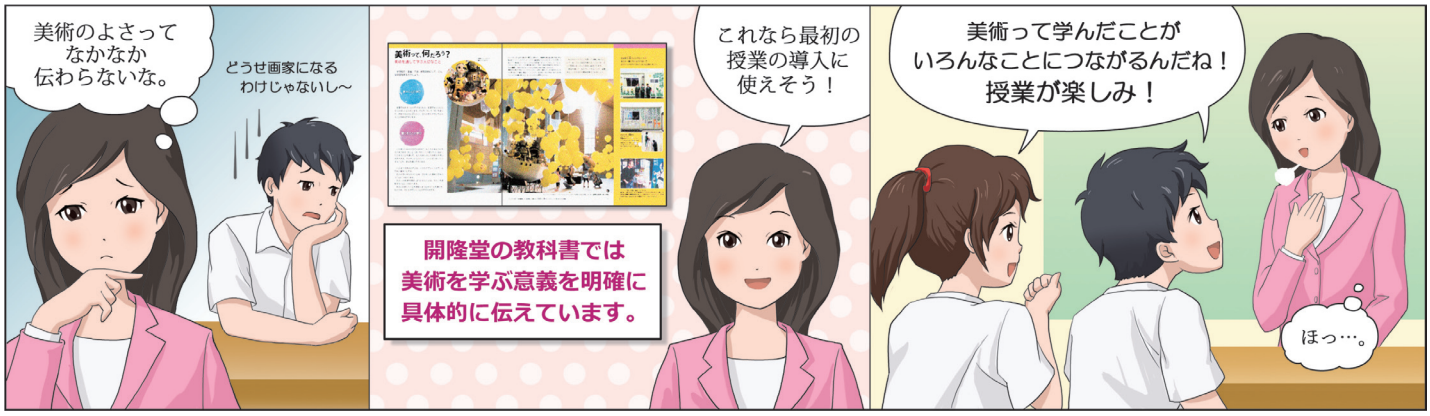
▸美術を学ぶ意義

美術1、美術2・3それぞれの巻頭ページに「美術を通して学ぶ大切なこと」を伝えるページを設定しました。
小学校「図画工作」から中学校「美術」へ入る入口で中学校の造形活動へ意欲的に取り組む姿勢を培います。

【美術1】p.2–4

美術2・3の巻頭ページでは、「他人と違っていること、他人と同じであること」を主題に美術を学ぶ意義を訴えています。

【美術2・3】p.2–4



▶美術で培った力を仕事に生かす

美術で学んだ力を生かして社会で働いているさまざまな職業の方からメッセージをいただきました。美術で学んだことを生活や社会にどのように生かしているのか具体的にイメージができます。

【美術2・3】p.10–11

ケーキ職人　片山雄介（かたやまゆうすけ）さん

小学校用務員　渡邉晴美（わたなべはるみ）さん

工業デザイナー　水戸岡鋭治（みとおかえいじ）さん

庭師　門間剛一（もんまごういち）さん

ねぶた師　北村麻子（きたむらあさこ）さん

特色2

学びやすい紙面構成

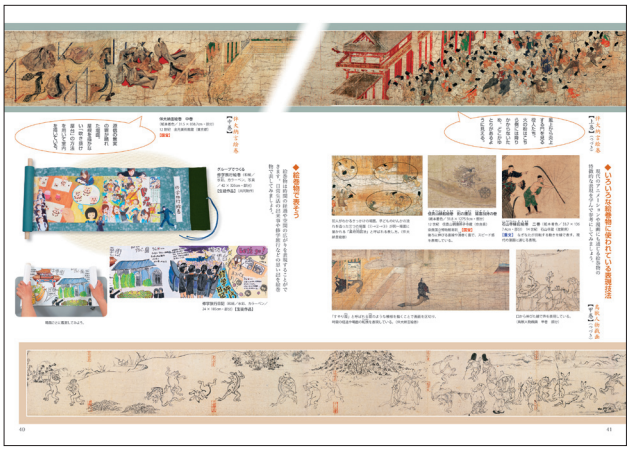
題材ごとにレイアウトに変化をもたせ、生徒が学習を楽しんで進めるように工夫しています。
また、授業の流れに沿って紙面を配置しているので、
学習のポイントを明確にとらえることができて学習効果が高まります。

▶変化に富んだ紙面

【美術2・3】p.99–102

4ページの見開きを使って大きな図版で掲載しているので、「ゲルニカ」の作品の一つ一つの表現を丁寧に鑑賞することができます。

右から左へ読む絵巻物の形式に合わせて、右ページから戻るように画面を進めていきます。



日本の伝統的な表現様式が現代の漫画やアニメーションの表現に生かされていることを学びます。

90度教科書を回転！

【美術1】p.16–17

教科書を90度回転させると、横長の図版が縦に二つ並び、大きい図版で楽しく鑑賞することができます。

大型図版で魅せる!

ページが戻る題材!?

【美術2・3】p.38–43

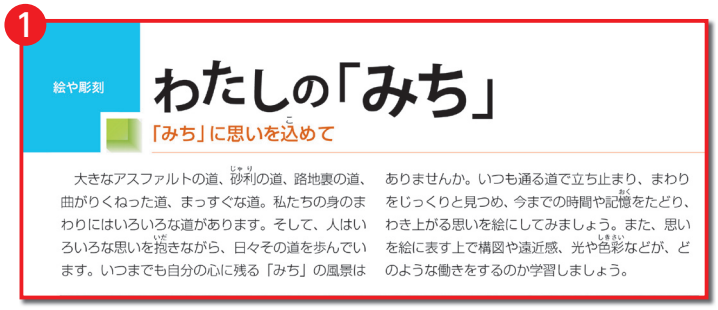
昆虫図鑑!?

「不思議昆虫図鑑」では、廃材でつくった昆虫の作品を図鑑に見立てた紙面全体に載せました。表現への意欲をかきたてるとともに、展示や鑑賞の手立てとなります。

【美術1】p.24–25

▶授業の流れに沿って展開する

題材の主文で学習の目標と内容をとらえ、作品鑑賞をきっかけに題材への関心・意欲を高めます。次に主題について発想や構想のヒントから自分の思いを広げます。そして必要に応じた技法や表現方法を身に付けて、自分の思い描いた表現に展開していく流れに設定しています。



題材名とともに学習内容とその題材で培いたい力を明示しました。
生徒を美術の世界へ誘います。

基礎的な技法や知識など習得したい内容を示しています。

※本題材は6ページ構成です。

目標　鑑賞・導入　≫≫　制作（発想・構想、技法の学習）

【美術2・3】p.12−17

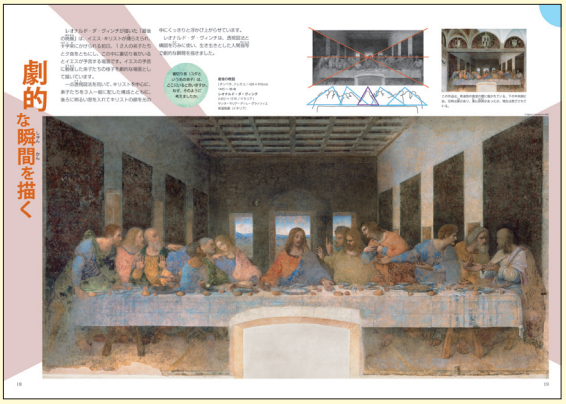
作家自身の言葉を載せています。
作家や作品をより身近に感じることができます。

題材に関連する知識や背景的な情報を示しています。

5 ☞ P.18・19「劇的な瞬間（しゅんかん）を描く」、P.20・P.21「ルネサンスの美術」を参考にしよう。

関連のあるページを示しました。より学習を深めることができます。

鑑賞



【美術2・3】p.18–19

【美術2・3】p.20–21

学習の広がり

表現題材ページの前後に、関連する内容の鑑賞・文化ページを配置しました。表現題材と関連した歴史的・文化的な背景をより深く学ぶことができます。

6 ふりかえり

- ●道に思いを込めて描くことを楽しみましたか。
- ●道の様子からどのような構想をもちましたか。
- ●奥行きの表現や色彩をどのように工夫しましたか。
- ●作品に描かれた道からどのようなことを感じ取りましたか。

題材ごとに四つの「ふりかえり」を設定しました。
題材でつく力を生徒が自己評価する手助けになるとともに、
言語活動を促します。

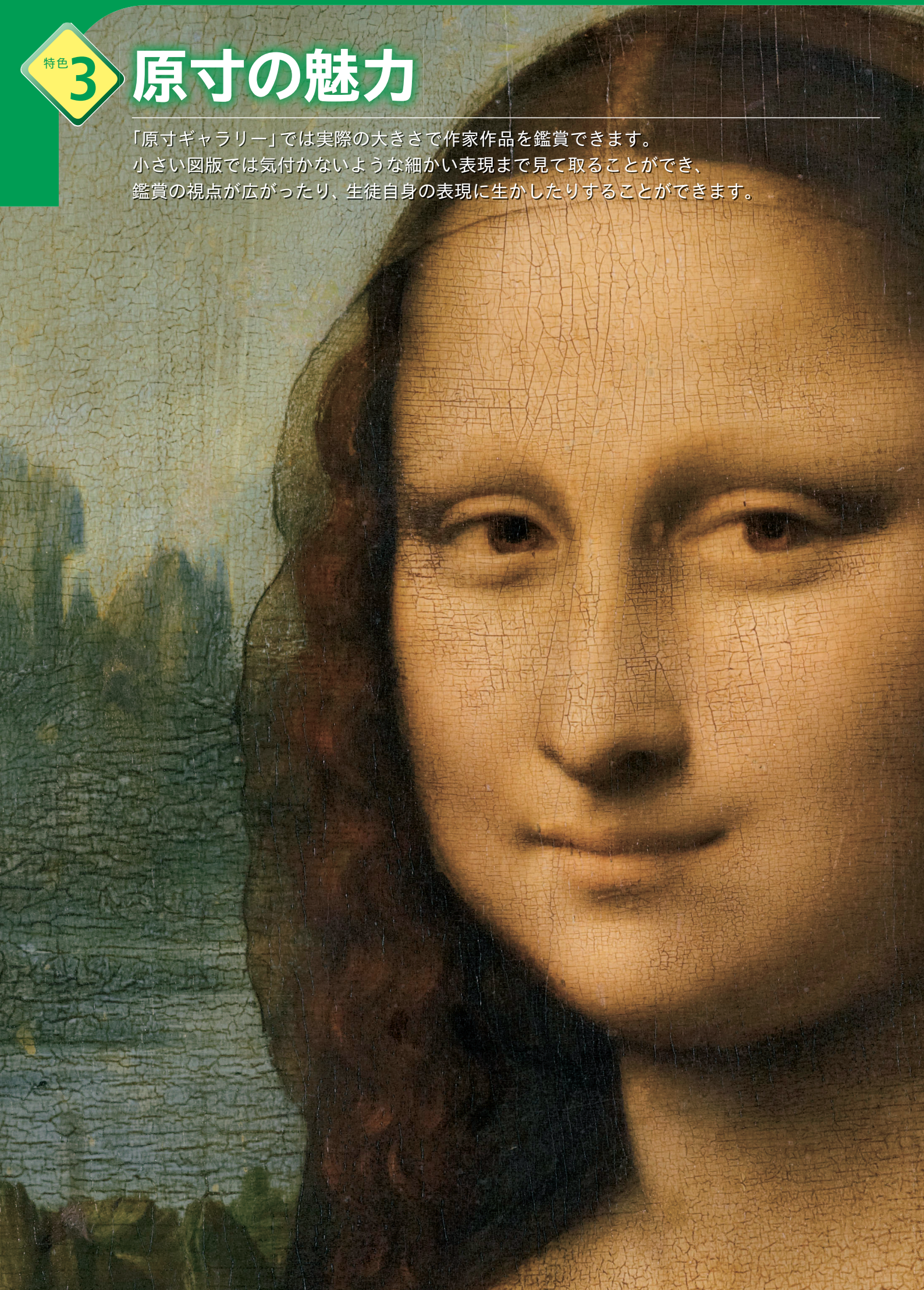
- ●関心・意欲・態度のふりかえり
- ●発想・構想のふりかえり
- ●創造的な技能のふりかえり
- ●鑑賞のふりかえり

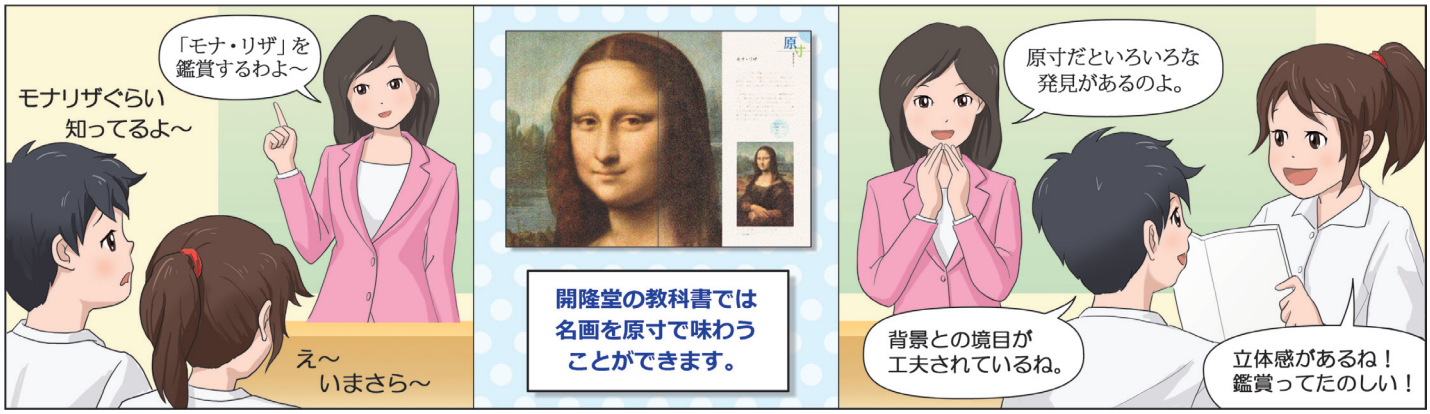
に対応しています。

特色3

原寸の魅力

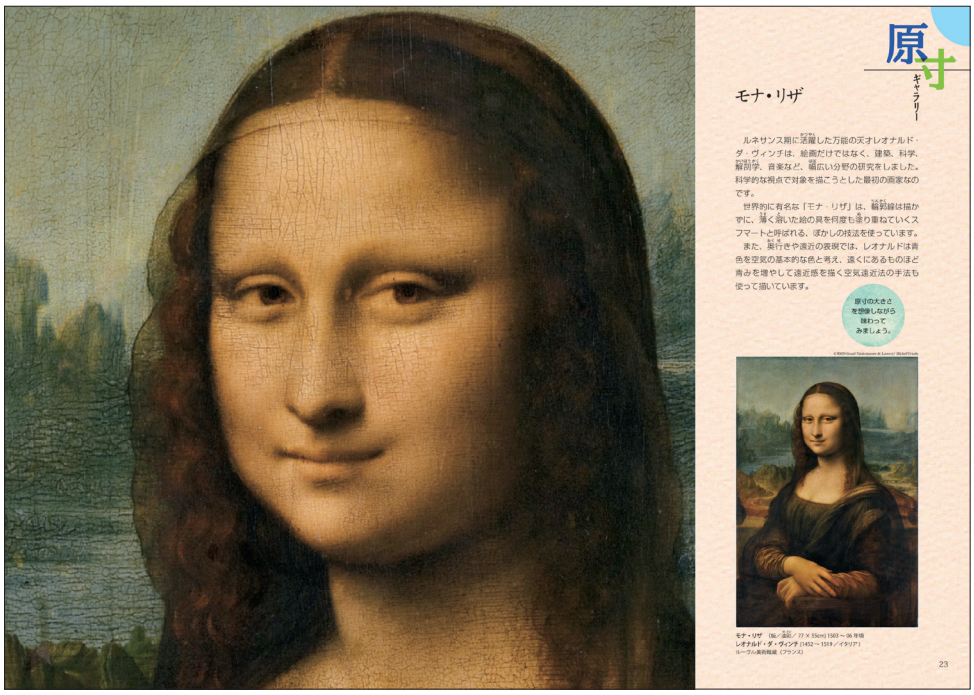
「原寸ギャラリー」では実際の大きさで作家作品を鑑賞できます。
小さい図版では気付かないような細かい表現まで見て取ることができ、
鑑賞の視点が広がったり、生徒自身の表現に生かしたりすることができます。





▶「モナ・リザ」

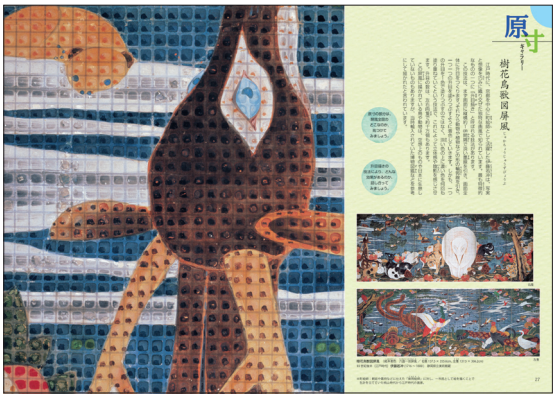
「モナ・リザ」を原寸で鑑賞すると、スフマートと呼ばれるぼかしの技法、空気遠近法の表現方法を実際の作品を見ているように鑑賞することができます。



【美術2・3】p.22–23

▶「樹花鳥獣図屏風」

伊藤若冲が使った独特の「升目描き」の技法を原寸の大きさで味わうことができます。



【美術1】p.26–27

▶「桜図」

胡粉で立体的に盛り上げて描かれている桜の花を実感できます。

【美術2・3】p.46–47

特色 4

伝統文化に学ぶ

日本の伝統文化やさまざまな地域の伝統工芸を学ぶ題材を設定しました。
伝統文化を知り、実際に表現してみることで、つくり手の思いや日本の伝統文化を理解し、和の造形感覚を生活の中に生かすことを考える学習ができます。

▶琳派の造形を知る

琳派の造形の美を味わう題材を設定しました。琳派の作品の鑑賞から、掛軸、扇子、屏風のデザインまで取り上げています。

【美術2・3】p.48–49

墨のよさを生かして描いた作品を掛軸に仕立てました。

▶各地の伝統文化を学ぶ

日本のさまざまな地域の伝統工芸品を取り上げました。

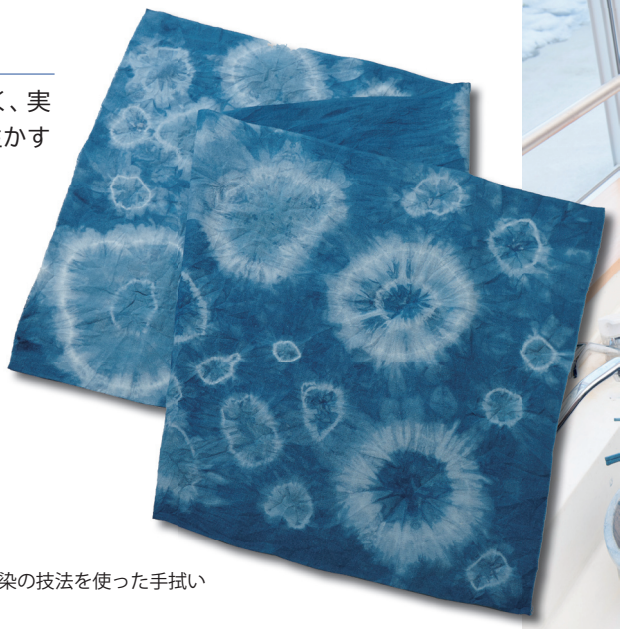
京鹿の子絞（京都府）

南部鉄器（岩手県）

駿河竹千筋細工（静岡県）

▶生活の中に和の造形感覚を

伝統工芸品を知るだけでなく、実際に制作して自分の生活に生かすことまでを提案しています。



藍染の技法を使った手拭い

特色5

美術を生活や社会に生かす

美術で培った力を生活に生かすことや社会とのかかわりを
考える学習を重視しています。生徒たちが美術で培った力で生活を豊かにし、
社会をよりよくしていくことを期待します。

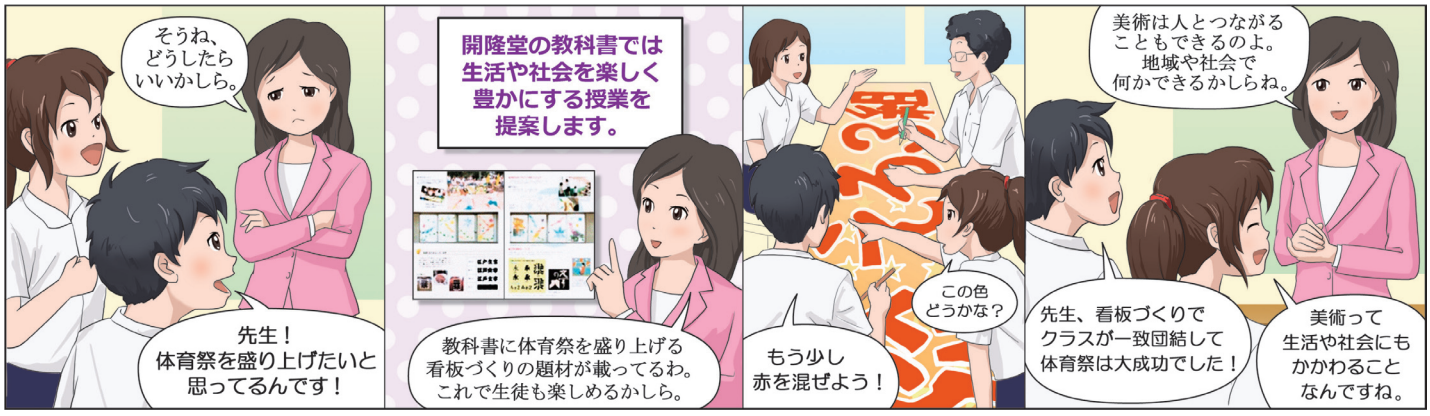
▸美術を生活の中に生かす

身のまわりにある日用品などの形や色彩を工夫したり、学校生活を
楽しくするようなデザインを考える題材が多数設定されています。

魚からイメージを広げて、
構成した紙袋

場所を表すマークで教室
配置図を表現している。

体育祭のクラス団結のためにつくった応援看板



▶美術と社会とのかかわりを考える

暮らしや生活を便利で快適にするデザイン、言葉では伝わりにくいことをわかりやすく伝えるデザイン、使い手の気持ちを考えて用途や機能を工夫するデザインなど、社会をよりよく豊かにしていくデザインを考える題材が設けられています。

両親が営むお店に飾るための看板を制作しました。

グループで意見を出し合い、発想を広げ、課題に迫る学習をします。

地域の文具店の包装紙をデザインして、実際に使ってもらいました。

●観点別・編集の特色●

●学習指導要領との関連●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
学習指導要領「美術」との関連	学習指導要領における美術科の「目標」である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。」に編集の基盤が置かれている。発達の段階に応じて系統的に構築された題材内容とともに，授業の目標，内容や方法，培いたい資質や能力を明確に整理して具体的に紙面に示されており，教科の目標を達成することができる教科書となっている。 生徒にとって，見やすく，魅力的な紙面で，学びやすいと同時に，活動の見通しと振り返りの観点を通して，自ら思考，判断する状況を設定するなど，生徒の自立を促しており，**美術を通した人間教育**の実現が図られている。	全般
学習指導要領「道徳」との関連	作品の制作を通して個性豊かな表現を追求し，自己の向上を図ることができるように配慮されている。特に，**「私の歩み」**（1年p.48～49）では，自分の作品集をデザインすることを通して，自己の向上を実感できるように配慮されている。	左記ページをはじめ全般
	コミュニケーションを意識した題材が多く設定され，自他の理解を深めて，それぞれの立場を尊重する心が養われるように配慮されている。例えば，**「生活を豊かに」**（1年p.32～37）や**「動きのおもしろさを使って」**（1年p.44～45）など，友達とかかわりながら制作する題材が多く設定されている。また，**「人の形のおもしろさ」**（1年p.18～21）や**「人の形に込めたもの」**（2・3年p.58～61）では，友達や人物を観察して表現することを通して，自他の理解や人間を尊重する心が養われるように配慮されている。	1年 p.2-4／16-17／18-21／32-37／38-43／44-45／46-47 2・3年 p.24-27／54-57／58-61／64-69／70-77／78-79／84-87
	自然材料を扱うことや自然が豊かな場所で表現活動を行うことを通して，自然のよさを感じ取れるような題材づくりがなされている。例えば，**「不思議昆虫図鑑」**（1年p.24～25）や**「原寸ギャラリー・桜図」**（2・3年p.46～47）では，自然の材料を使った表現をしたり，自然を描いた作品を鑑賞したりする題材が設定されている。	1年 p.8-9／10-15／24-25／38-43 2・3年 p.2-9／12-17／44-45／46-47／54-57／88-89／90-95
	日本の伝統文化や地域の工芸・造形を多く扱い，優れた伝統の継承や郷土を愛する心が養われるように配慮されている。例えば，**「デザインする心」**（2・3年p.64～69）では，着物や和菓子のデザインが取り上げられたり，**「人がつくる、技を極める」**（2・3年p.90～95）では，日本各地の伝統工芸が取り上げられたりしている。	1年 p.38-43 2・3年 p.10-11／64-69／90-95

●教育基本法（第二条）との関連●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
人権尊重の観点	**第1号**▶「真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと」については，教科書の全題材及び特設のページを通して教科の目標に迫ることで，達成できるように配慮されている。「幅広い知識と教養を身につけ」は，特設のページでも補われ，各題材での学びに生かされるように配慮されている。例えば，各巻に設けられた**「作者の言葉」**の囲みでは，芸術家の制作姿勢や作品に対する思いが紹介され，芸術家の言葉を通して，豊かな情操や道徳心などが培われるように配慮されている。	1年 p.5-7／8-9／28-29／30-31／32-37／38-43／44-45／50-51／52-54／55-57 2・3年 p.12-17／28-31／32-33／34-37／48-51／54-57／64-69／70-77／78-79／80-83／84-87／88-89／90-95／99-102／106-107
	第2号▶自分とは何か，自分らしさとは何かということを造形的に表そうとすることは自己肯定感を高め，個人の価値尊重につながると考えて題材化されている。例えば，**「美術はいつも生活や暮らしの中に」**（2・3年p.10～11）では，造形活動を愛し，それを職業としている人の活動を紹介することで，自分のやりたいことを見つける素晴らしさを伝えている。また，**「生きることと美術」**（2・3年p.96～98）では，美術が社会に果たす役割について考え，個人の価値を尊重してその能力を伸ばし，自主及び自律の精神が養われるように配慮されている。	1年 p.5-7／10-15／18-21／38-43 2・3年 p.2-9／10-11／24-27／28-31／58～61／96-98
	第3号▶友達と協力して表現する活動の中には，互いの考えを主張したり調整したりすることが必要となり，形，色彩，言葉などを通して互いのよさを感じ合える題材づくりがされている。また，相手のことを考えて伝えるデザインの題材では，相手への思いやりの心をふくらませるように工夫されている。例えば，**「つながるデザイン」**（2・3年p.78～79）では，友達とともに，ユニバーサルデザインのゲームを制作して楽しむ題材が設定されている。	1年 p.2-4／32-37 2・3年 p.64-69／70-77／78-79／80-83／84-87／96-98
環境問題の観点	**第4号**▶自然材料で表現することや自然が豊かな場所で表現活動を行うこと，自然を扱った作品の鑑賞活動を通して，自然のよさを感じ取れるような題材づくりがなされている。例えば，**「不思議昆虫図鑑」**（1年p.24～25）では，自然の材料やその他の材料を使って，思いついた生き物を制作する題材が設定されている。また，デザインのページでは，**「デザインで伝える」**（2・3年p.70～77）では，環境問題を訴えるポスターを扱ったり，**「環境をデザインする」**（2・3年p.80～83）では，環境のために美術ができる事例を取り上げたりするなど，環境問題にも目を向けるように配慮されている。	1年 p.10-15／22-23／24-25 2・3年 p.12-17／80-83／88-89
文化の伝承や文化遺産の尊重，国際理解の観点	**第5号**▶造形作品や造形活動を通して我が国の文化や郷土のよさ，外国の文化などを伝えている。例えば，**「伝統の美に学ぶ」**（2・3年p.48～51）では，掛軸や屏風，墨を使った活動が取り上げられている。日本の国宝（22点）や重要文化財（13点）が数多く取り上げられており，全体としては，日本の作品と諸外国の作品の取り上げ方に偏りがなく，バランスにも配慮されている。国際理解の観点では，例えば，**「ゴッホと日本」**（2・3年p.52～53）では，日本の美術が諸外国に与えた影響について学んだり，**「祈りの造形」**（2・3年p.62～63）では，日本の仏像とアジア各地の仏像を比較しながら鑑賞できたりするように扱われるなど，国際理解に配慮されている。	1年 p.16-17／26-27 2・3年 p.18-19／20-21／22-23／38-43／44-45／46-47／48-51／52-53／62-63／64-69／90-95／99-102／103-105

●内容の程度と配列の適切度●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
学習の目標と内容のわかりやすさ	美術科の学習で大切にしたい目標と内容が題材解説文に明示されており，題材ページの最後に設置された，生徒の自己評価のための「ふりかえり」とあわせて，「学習の目標」と内容及び「育てたい力」との関連が明確に示されている。生徒が目標にそった自分の学びを確認する際の視点が示されることで，生徒の自主的・自律的な学習を促す工夫がされている。	全般
題材の配列，系統性の観点	第2学年及び第3学年が1冊にまとめられ，豊富な資料とともに効率よく学習が進められるように配慮されている。各巻では，学年の発達の段階に対応した系統性を，「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞・資料」の視点でバランスよく構築されており，有効な積み重ねと転移が図れるようになっている。また，生徒の実態や地域，各学校の特性を生かした指導計画の編成がしやすいような題材が随時，設定されている。例えば，**「わたしの『みち』」**（2・3年p.12～17）は，東山魁夷の作品を導入に，生徒が遠近法を学習しながら作品の主題を見つけたり構図を考えたりして作品を制作する題材であるが，その後に続くページ**「劇的な瞬間を描く」**（2・3年p.18～19）では，遠近法の関連からレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を鑑賞できるように配列されている。さらに，レオナルド・ダ・ヴィンチとの関連で**「ルネサンスの美術」**（2・3年p.20・21），**「原寸ギャラリー・モナ・リザ」**（2・3年p.22～23）が設定され，そこで人間再発見の時代を学んだことを生かして，**「自分と向き合う」**（2・3年p.24～27）で自画像を表現するというように，表現と鑑賞，基礎と発展が相互に関連して緻密に配列され，無理なく学習が進められるように構成されている。	左記ページをはじめ全般
内容と分量の適切さ	学習指導要領に示されている年間授業時数をふまえ，題材の軽重のバランスがよく整えられている。見開き2ページの題材だけではなく，発展的，系統的な題材を効果的に配列構成するとともに，題材間で関連する学習内容を明らかにした6～8ページで展開する大型の題材も設けられており，その中から年間授業時数に即して，地域や学校の実情に合わせて題材を選択し，柔軟な指導計画が立てられるように配慮されている。例えば，**「デザインで伝える」**（2・3年p.70～77）では，導入からデザインの方法を学ぶ共通部分を設けた後に，時数や生徒の関心などに応じて，ロゴタイプ，ポスター，絵本，アニメーションなどの表現方法から選べるように設定されている。	左記ページをはじめ全般
言語活動の充実への配慮	コミュニケーションや言語活動を重視した題材が多く設定されている。特に，鑑賞作品には話し合いのきっかけになるような問いかけが設定され，言語活動を促す工夫がされている。例えば，**「生活を豊かに」**（1年p.32～37）や**「動きのおもしろさを使って」**（1年p.44～45），**「光と明かり」**（2・3年p.84～87）など，友達とかかわりながら制作する題材が多く設定されている。また，**「私の歩み」**（1年p.48～49）や**「デザインする心」**（2・3年p.64～69）では，**プレゼンテーション**や話し合いの活動が取り上げられているなど，言語活動の充実に配慮されている。	左記ページをはじめ全般
安全への配慮	安全については，配慮すべき点を安全マークとともに，用具や材料を安全に使用することが具体的に例示されている。また，**「道具箱」**（1年p.52～54）では，用具や材料の基本的な扱い方が的確なイラストや写真で示され，安全な使い方が確実にできるように配慮されている。	1年 p.44･45／52-54 2・3年 p.12-17
小学校および高等学校との連携への配慮	第1学年の題材では，「美術って，何だろう?」（1年p.2～4）や**「集める・試す・組み立てる」**（1年p.5～7）といった，小学校図画工作での学習との関連を重視した題材が設定されている。第2・3学年では，全体として，表現及び鑑賞について一層の広がりと深まりがもてるように題材が設定され，特に，**「動きのおもしろさを使って」**（1年p.44～45）や**「デザインで伝える」**（2・3年p.70～77），**「絵巻物の世界」**（2・3年p.38～43）では，高等学校で本格的に扱う映像表現の基礎的な内容を扱うなど，高等学校「美術」「工芸」への発展に配慮されている。 また，各題材の末尾には，**小学校図画工作と共通の「ふりかえり」**の四つの観点が示され、小学校からの連携がスムーズにできるように配慮されている。	左記ページをはじめ全般
他教科との関連への配慮	他教科との関連を一層進めることが示されていることをふまえて，「総合的な学習の時間」や他教科との関連を視野に，**「絵巻物の世界」**（2・3年p.38～43）や**「祈りの造形」**（2・3年p.62～63）などでは，我が国の伝統的な表現方法や伝統文化，国際理解の一端となる諸外国の美術作品などが紹介されている。	左記ページをはじめ全般
年間授業時数と年間指導計画の適切さ	年間授業時数を考慮して，授業方法や時間数などが多様に扱えるような内容の示し方がされている。また，各題材では小見出しごとに題材の選択ができ，生徒の実態や地域・学校の特性を生かした指導計画の編成がしやすいように工夫されている。	全般

●学習指導の効果●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
自主的，自律的な態度と主体的な学習への配慮	各巻の冒頭では，**「美術を通して学ぶ大切なこと」**が生徒へのメッセージとして設けられ，美術を学習する意味と必然性を明示するとともに，**「美術はいつも生活や暮らしの中に」**（2･3年p.10～11）では，美術で学習したことをそれぞれの職業に生かしている人たちを扱うことで社会で役立つ美術の力を知るなど，生徒の意欲が高まる配慮がされている。魅力的な生徒作品が大きく掲載されたり，題材に応じてレイアウトが工夫されていたりすることで，表現や鑑賞の活動の魅力を生徒に伝え，主体的な学習を促すように工夫されている。教科書全体を通して，豊富な資料が用意されており，さらに，相互に関連するページを☞マークで示すことで，興味に応じて生徒が自主的に学習を進められるように配慮されている。	左記ページをはじめ全般
発想・構想の能力を培う観点	**「空想からの表現」**（2・3年p.28～31）や**「形や色彩からのメッセージ」**（2・3年p.34～37）をはじめ，表現題材全般を通して，発想・構想のヒントとなる考え方が具体的に示されている。また，題材に応じて適宜，生徒が考えを広げて，より創造的な表現活動ができるように，発展的な内容や関連する情報を示すコラムが設けられ，発想・構想の能力を高める工夫がされている。生徒作品は多様な作品が掲載され，それぞれの価値を尊重すると同時に，自らの創造性を培う意欲づけとなるように配慮されている。	1年 p.10-15／18-21／22･23／24･25／28･29／30･31／32-37／38-43 2・3年 p.12-17／24-27／28-31／32･33／34-37／54-57／70-77／88･89

主な観点	編集の特色	該当ページ例
基礎・基本を習得し，創造的な技能を培う観点	発達の段階に応じて，基礎・基本としての幅広い知識と技能を身に付けさせるために，それぞれの題材ページには，基礎的な技法や知識が 囲みで示されている。 各巻の巻末には，光や色彩などの基本的な知識をまとめた**「色彩ホームページ」**(1年p.55～57／2・3年p.106～107)，また，用具や道具の使い方をまとめた，**「パレットコーナー」**(1年p.50～51)，**「道具箱」**(1年p.52～54) が設けられ，基礎・基本を習得するとともに，創造的な技能が発揮されるための配慮がされている。	1年 p.8･9／22･23／28･29／30･31／32-37／50･51／52-54／55-57 2・3年 p.12-17／24-27／32･33／34-37／44･45／48-51／58-61／84-87／88･89／90-95／103-105
鑑賞の能力を培う観点	作家作品を大判の図版で掲載し，細部まで鑑賞できるようになっているとともに，鑑賞活動のきっかけとなる問いかけが配置されており，生徒の鑑賞の能力を高める工夫がされている。**「原寸ギャラリー」**(1年p.26～27／2・3年p.22～23／2・3年p.46～47) のページが設けられ，実際の大きさで作品を鑑賞できるように工夫されている。さまざまな鑑賞の方法を示すために，**「比べてみよう」**(1年p.16～17) や**「美しさの交流」**(1年p.46～47) の題材が設定され，表現と鑑賞の一体化を図られている。	1年 p.2-4／16･17／26･27／46･47 2・3年 p.2-9／12-17／18･19／20･21／22･23／46･47／52･53／62･63／96-98
美術文化を理解するための資料の豊富さ	題材ページには資料として マークとともに，背景的な知識を紹介する囲みが設けられている。そのほかに資料ページとして，**「劇的な瞬間を描く」**(2・3年p.18～19)，**「ルネサンスの美術」**(2・3年p.20～21)，**「ゴッホと日本」**(2・3年p.52～53)，**「ゲルニカ」**(2・3年p.99～102)，**「人の表現から見る美術の歴史」**(2・3年p.103～105) などのページが，表現題材とのかかわりをもって適所に設けられ，美術文化を理解するために工夫されている。	1年 p.10-15／26･27／32-35／38-41／44･45 2・3年 p.2-9／12-17／18･19／20･21／22･23／24-27／28-31／46･47／48-51／52･53／96-98／99-102／103-105
地域性，多様な扱いへの配慮	全国的に共通して知識や技能を幅広く身に付けると同時に，地域の実態に合わせて入手しやすい材料を扱ったり，地域の文化財や美術館といった学校外の資源も活用したりして，地域独自の特色ある授業も実践できるように工夫されている。特に，地域社会とかかわる題材として，**「生活を豊かに」**(1年p.32～37)，**「デザインする心」**(2・3年p.64～69)，**「人がつくる、技を極める」**(2・3年p.90～95) などが設けられている。	左記ページをはじめ全般

●表現の工夫について●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
文章表現の適切さの観点	題材名は，活動内容の事実を紋切り型に表示することから脱却し，生徒の心に響き，内容が豊かにイメージされるように工夫されている。主文は，生徒の言語感覚を大切にし，生徒の心に語りかけ，題材内容や方法をイメージさせて意欲的に課題をつかみ取れるように工夫されている。また，個々の作品の解説文として示された「生徒の言葉」は，発想・構想の工夫などの心情面から作品理解に役立つように配慮され，作品を教科書に掲載した意図が伝わるように配慮されている。	全般
レイアウトの斬新さの観点	生徒にとって最も身近な美術書としての位置づけがされ，全ページとも各題材・内容をより明確にし，感動的に楽しさが読み取れるよう工夫されている。一人ひとりの生徒が表現活動に見通しをもち，主体的・自発的・発見的に造形活動が進められるように，文章・図解・情景写真・作品例などが配置されている。また，レイアウトはすべての生徒が見やすく，活動したいという意欲がわいてくるように，ワンパターンではなく，題材に応じて工夫され，美しさや楽しさが伝わり，生徒の意欲を高めるようになっている。特に，**「集める・試す・組み立てる」**(1年p.5～7) や**「不思議昆虫図鑑」**(1年p.24～25) では，ページ全体がスケッチブックや昆虫図鑑ふうに構成されていたり，**「絵巻物の世界」**(2・3年p.38～43) では，右から左へ読み進める絵巻物の形式に合わせて右ページから読み進められるよう縦書きで構成されていたり，**「比べてみよう」**(1年p.16～17) では，横長の作品を大きく見せるために90度回転して鑑賞できるように構成されていたりと，全体にレイアウトの工夫がされている。また，**「原寸ギャラリー」**(1年p.26～27／2・3年p.22～23／2・3年p.46～47) では，実物の大きさが味わえるように，1ページを使って作家作品が大きく示されおり，**「心ひかれる風景」**(1年p.10～15) や**「他人と違っていること、他人と同じであること」**(2・3年p.2～9) などでは，折込ページが効果的に活用され，大型図版の魅力を減ずることなく魅力的なレイアウトで掲載されている。	左記ページをはじめ全般
制作のプロセスや図解の明快さの観点	制作過程の写真や図，材料・用具の扱い図など，正確さを必要とするものは生徒の視点に立ち，細心の注意が払われている。また，図解を読み取る能力をつけさせるために，学年に相応した図が系統的に配置されている。	全般
カラーユニバーサルデザインへの配慮	NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構による校閲で，色覚に多様性のあるすべての生徒に対して，教科書の内容がきちんと伝わるように，紙面全体に識別しやすい配色や形状，イラストの配色や写真の配置などが工夫され，支障なく学習できる教科書となっている。	全般

●造本・体裁●

主な観点	編集の特色	該当ページ例
印刷の鮮明さの観点	印刷は，作品のもつ微妙なニュアンスや質感などが忠実に再現されている。 用紙は，見やすさ，印刷適正の観点から，最適の用紙を厳選している。特に印刷インキのぎらつきを抑え，しっとりとした目に優しい紙が採用され，生徒の目を保護するなどの配慮がなされている。	全般
製本の堅牢さの観点	開いたときの使いやすさと堅牢さが考慮されており，美術1は，これ以上多くなると逆に堅牢性を損ねるともいわれる最大限の堅牢性を誇る24穴のミシン綴じであり，各巻ともに，見返し付きで堅牢である。表紙は，ポリプロピレン (PP) 加工されて耐水性があり，長期の使用に耐え得る製本になっている。また，裏表紙には，生徒の学年・組・名前などをにじむことなく記入できる部分が設けられている。	全般
装丁の工夫の観点	表紙は，各巻ともに**「美術と地域・社会のかかわり」**をテーマとして，選定・撮影されている。特に，美術2・3年の表紙では，「平和と美術」をテーマとして，本文題材の**「ゲルニカ」**(2・3年p.99～102) との関連を示すなど，単なる表紙にとどまらない学習資料としても位置付けられるなど工夫されている。	各巻の表紙，裏表紙
安全および環境への配慮	印刷インキは，環境に配慮した植物油インキが使用され，人体への影響が少なく，化学物質に敏感な生徒に対しても，安全面が配慮されている。資源保護のために表紙，本文とも森林環境に配慮した原材料からつくられた用紙が使用され，また，表紙の加工は有害物質の出ないポリプロピレン (PP) 加工がされるなど，環境への配慮もされている。	全般

資料

1. ページ数（A4判）

	1年	2・3年	合　計
(1) 絵に表す活動のページ数	14	28	42
(2) 彫刻に表す活動のページ数	6	8	14
(3) デザインに表す活動のページ数	10	18	28
(4) 工芸に表す活動のページ数	8	18	26
(5) 鑑賞活動のページ数	12	33	45
(6) 材料や用具の扱いに関する内容のページ数	5	—	5
(7) 色彩に関する内容のページ数	2	2	4
(8) もくじ	1	1	2
総ページ数	58	108	166
※備　考	※ (5) の鑑賞には、表紙（表・裏）、「美術って何だろう」(P.2〜4)、「集める・試す・組み立てる」(P.5〜7) を含める。	※ (5) の鑑賞には、表紙（表・裏）、「他人と違っていること、他人と同じであること」(P.2〜9)、「美術はいつも生活や暮らしの中に」(P.10・11) を含める。	

2. 題材数

	1年	2・3年	合　計
(1) 絵に表す活動の題材数	5	7	12
(2) 彫刻に表す活動の題材数	3	2	5
(3) デザインに表す活動の題材数	3	4	7
(4) 工芸に表す活動の題材数	2	4	6
(5) 鑑賞活動の題材数	5	12	17
(6) 材料や用具の扱いに関する内容の題材数	2	2	4
(7) 色彩に関する内容の題材数	1	—	1
総題材数	21	31	52
※備　考	※ (5) の鑑賞には、表紙（表・裏）、「美術って何だろう」(P.2〜4)、「集める・試す・組み立てる」(P.5〜7) を含める。	※ (5) の鑑賞には、表紙（表・裏）、「他人と違っていること、他人と同じであること」(P.2〜9)、「美術はいつも生活や暮らしの中に」(P.10・11) を含める。	

3. 紙面構成の扱い

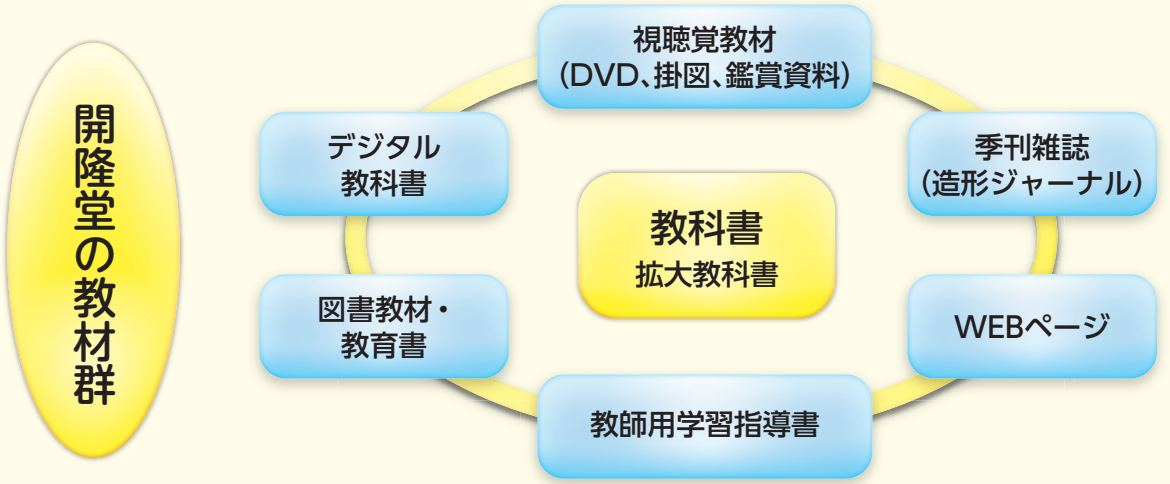
	1年	2・3年	合　計
(1) 2ページ展開の題材数	11	12	23
(2) 3ページ展開の題材数	4	2	6
(3) 4ページ展開の題材数	1	9	10
(4) 6ページ展開の題材数	3	4	7
(5) 8ページ展開の題材数	—	2	2

4. 作品数など

	1年	2・3年	合　計
(1) 生徒作品数	123	187	310
(2) 作家作品数　ア. 日本人作家作品数	15	101	116
イ. 外国人作家作品数	11	78	89
(3) その他の作品数（文化財・民芸品・建造物など）	17	61	78
(4) 基礎的な表現技法や知識などの写真や図版　ア. 写真	29	53	82
イ. 図版	35	24	59
(5) 表現や鑑賞活動の情景写真数	94	73	167
(6) 題材に関する情報（コラム数）	6	15	21
(7) 作家作品の作家の言葉	3	2	5
(8) 生徒作品の作者の言葉	25	75	100
(9) 2分の1ページ以上にわたる大きさの作品数	10	19	29
(10) 安全についての記載箇所数	4	1	5
(11) 国宝や重要文化財の作品数	—	35	35

平成28年度用中学校美術教科書［内容解説資料］

教科書を核として、豊かな教材で充実した授業をバックアップ！



●教師用学習指導書

指導案や制作手順を収録したDVD、鑑賞の授業で使えるアートカードや折り目のない大型の作品掛図などの構成を現在企画中です。

●季刊雑誌「造形ジャーナル」

年４回発行している美術教育の情報誌です。今日の造形教育の課題や全国の題材実践例など、美術教育に関する最新の情報をお届けします。

●デジタル教科書

デジタル教科書は、CoNETSの一員として、指導者用デジタル教科書を発行予定です。CoNETSは教科書会社12社などで構成される任意団体です。

●拡大教科書

教科書バリアフリー法に基づき、弱視の生徒のための拡大教科書を発行します。

●図書教材

「美術　表現と鑑賞」

表現のための基礎技法の学習と、作品の鑑賞ができる生徒用教材です。「表現編」では制作に必要な用具と手順をわかりやすく解説し、「鑑賞編」では、美術史の流れに沿って東西の美術作品の鑑賞ができます。

本紙面は現行版の
学習指導書「教科書解説編」です。

「美術　表現と鑑賞」

開隆堂出版株式会社
http://www.kairyudo.co.jp

■本社
〒113-8608 東京都向丘1-13-1　TEL：03-5684-6111
●北海道支社
〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西6丁目11番地札幌北辰ビル8階　TEL：011-231-0403
●東北支社
〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル2階　TEL：022-782-8511
●名古屋支社
〒464-0802 愛知県名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階　TEL：052-789-1741
●大阪支社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16　TEL：06-6531-5782
●九州支社
〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2丁目1番5号 FYCビル3階　TEL：092-733-0174

'15 CUD COLOR UNIVERSAL DESIGN

このCUDマークはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証された製品に表示できるマークです。この教科書は色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮してつくられています。CUDマーク取得見込み

●この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使用しましょう。
●この教科書は環境に配慮した用紙やインキを使用しています。